

<p>Rotary Club of</p> 	 												
 													
国際ロータリー第2570地区 川越ロータリークラブ会報													
22 vol.													
<table border="1"> <tbody><tr> <td>会員数</td> <td>102名</td> <td>免除出席者</td> <td>1名</td> <td>正会員出席者</td> <td>54名</td> <td>出席者</td> <td>55名</td> <td>早退</td> <td>4名</td> <td>出席率</td> <td>56.70%</td> </tr> </tbody></table>	会員数	102名	免除出席者	1名	正会員出席者	54名	出席者	55名	早退	4名	出席率	56.70%	
会員数	102名	免除出席者	1名	正会員出席者	54名	出席者	55名	早退	4名	出席率	56.70%		

▶
▶

<p>プログラム</p> 点鐘(12:30)／ロータリーソング(我等の生業・R-O-T-A-R-Y)／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘(13:30)＜司会：島村拓史SAA＞

会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人

<卓話講師紹介>
<クラブ協議会：各委員長・部門委員長>
<会長挨拶>



　今月は、疾病予防と治療月間です。コロナ感染症、インフルエンザ等の流行がありますが、ロータリーの友今月号には“健康めし 元気めし ゲン担ぎめし”の記事があります。何よりも大切なことは、栄養を取る事、すなわち、食べられることが大切だと思います。

　私の父、石井要は「命は食にあり」と、よく申し出ておりました。食べる事が好きで「人は食べられないくなったらおしまいだ!」と言っていました。が、その通りだと思います。

　年齢を取ると、食が細くなり、若い時のあの食欲は何だったのか?と思います。小城さんを見ると羨ましくなります! 因みに、私の好きな食べものは、若い時は、かつ丼、天丼でしたが、今は、マルセイバターサンドです!

　今年も残すところ、あと3週間足らず。例会も今回を含めて、年内2回で終わります。

　本日の卓話は、会長幹事の担当のクラブ協議会となります。半年間の活動報告を、各委員長・部門委員長にお願い致します。

　さて、この半年を振り返ってみますと、今日が22回目の例会です。皆様のおかげで今のところ、予定通りに例会を実施させていただいております。ありがとうございます。

　昨年度(小高・吉澤年度)からバトンタッチをして、スタート時点では色々なことがありましたが、7月にはガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、そしてコロナを心配しての納涼家族例会(ジャミンバンド飛び入りの「雅夫」さん!)、そして、本年度は「川越市制施行100周年記念」という節目の年でもあり、百万灯夏祭り(7/30・31)、川越祭り(10/15・16)、小江戸川越ハーフマラソン(11/27)等も3年ぶりに盛大に開催されました。そして、12月1日には、記念式典も実施されました。

　7月には、安倍晋三さんが凶弾に倒れるという、ショッキングな出来事もありましたし、ロシアのウクライナ侵攻、円安など色々な事が起きてますが、無事、こうやって例会を迎えられることは、大変ありがたいと感じています。

　スナックゴルフ大会(8/8：霞が関カンツリー)、寺子屋事業(8/27・28：養寿院、北公民館他)、米山梅吉記念館・鎌倉殿の13人大河ドラマ館への日帰り旅行(10/2)、エンドポリオ・クラシックカーラリー応援(10/23)、小江戸川越ハーフマラソンで星野高校インターアクトと協力して、ロータリー希望の風・エンドポリオ・ウクライナ支援の募金活動(11/27)など、色々な活動を行わせていただきました。

　また、5名の入会(小峰利久、広瀬哲也、丸山猛、近藤武弘、神谷勉)で会員総数102名となり、年明けには1名増え、103名となります。その他、ホームページのリニューアル(小城さんのコラムが楽しいです!)等々実施しました。

　こうやってみると、あっという間でしたが、色々なことを実施させていただきました。

　あと半年よろしくお願い致します。

<p>Rotary</p>  	 
国際ロータリー第2570地区 川越ロータリークラブ会報	
22 vol.	

▶
▶

<卓話講師紹介>
<クラブ協議会：各委員長・部門委員長>
<会長挨拶>

幹事報告

<p>2022-23年度 幹事 野溝 守</p>
<p>新入会員については異議が出ておりませんので、入会手続きに進みます。1月の第二例会に入会式を行う予定です。次週クリスマス例会は18:00点鐘、会場は3階です。本日の配布物は、ロータリーの友12月号、同要約版、会報です。上半期の会費、事業参画費の未納者はいませんでした。感謝申し上げます。</p>

委員長報告

○公共イメージ委員会 柏倉猛委員
●ロータリーの友12月号
 12月は疾病予防と治療月間です。
 【横】P4：RI会長がサンビアの首都ルサカに訪問した際、「マラリアにかかったことのある方はいますか」と尋ねると、全員の手が挙がりました。マラリアは多くの開発途上国において、病氣と死亡の主因の一つになっています。それでも、希望はあります。サンビアでマラリアと闘う「マラリアのないサンビアのためのパートナー」が大規模プログラム補助金初の対象として選ばれ、人びとの命を救っていることが紹介されています。

P36：2023年国際大会が開催されるメルボルンの街が紹介されています。肖像画やポスター、野外ギャラリーだけでなく、彫刻等、街の美しさが体験できると紹介されています。

P36：財団管理委員長から、「同じ価値観で団結するロータリー」ということで、ロータリアンは一人一人が自分の価値観をもってクラブに参加し、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという中核的価値観に加え、貢献の精神、また賢く奉仕することも重視していると紹介されています。

P7：健康めし、元気めし、ゲン担ぎめしなどが紹介されています。

【縦】P4：コロナ禍とワンヘルスという題目で、日本医師会名誉会長の横倉先生のコメントが入っています。新規感染の70％は、人間と動物の共通感染症であり、人間・動物・環境、この三つの健康は「ワンワールド・ワンヘルス」という考え方が書かれています。

P9：尾崎豊さんの兄康さん(浦和中ロータリークラブ)が、弟尾崎豊との暮らし、薬物との闘い、不慮の死を逃げるまで、それ以降、弁護士として、ロータリアンとして活動されている内容が書かれています。

P16：俳壇、歌壇、柳壇も含め、今月も読み応えのある内容になっています。

○親睦委員会 小林勇次郎委員長

●クリスマス家族夜間例会のご案内

　このクリスマス例会に向け3度の炉辺会合を開き、親睦委員会一丸となつて、いかに皆さまを楽しませようかと考えを練っています。今のところ、参加者は100名と伺っていますが、抽選で豪華賞品もあり、楽しいアトラクションもあり、来ないと後悔するクリスマス例会ですので、奮ってご参加ください。

ニコニコボックス(堀尾泰崇副委員長)

- 本日はクラブ協議会です。各委員長・部門委員長の皆様、上半期の報告よろしくお願い致します。会員の皆様、引き続き下半期もよろしくお願い致します。(会長、幹事)
- 本日半期報告させて頂きます。(栗原)
- 12月7日誕生日で68歳になりました。美味しいお菓子をありがとうございます。(神谷)
- 妻美嘉の誕生日プレゼントにお花を頂きました。どうも有難うございました。(山田(和))

- ロータリーの友今月号の12Pに誠に結構な記事が載っていました。(吉崎)
- 早退4名

合計16,000円

出席報告(片倉正樹委員)

卓話

○クラブ協議会
●戦略計画委員会 吉澤徳安委員長
 8月31日に第一回の委員会を開催し、今後の川越RCの在り方と、川越RCが2570地区と今後どのように関わっていくのかについて意見交換を実施しました。相原バストガバナーより、昨今の地区の状況及び高木年度の地区運営についてご説明をいただきました。また、RIが推進しているSRF(ロータリー未来形成)につきまして、2022年の規定審議会をベースに意見交換を行いました。次に、2022年4月に開催されたRI規定審議会において決定された定款、細則の変更を受け、先般の理事会において、定款は、川越RCの定款をRIの変更に合わせて変更を行うものとし、細則は、坂口年度との関係性を検討し、再度、理事会に上げることとなっています。

10月の年次総会において、坂口会長エレクトの理事、役員が選出され、次年度第一回の理事会が開催されました。その際に、坂口会長エレクトより、大雑把なクラブの運営方針につき説明がありました。現在、次年度に向けて組織編成が行われていると考えています。2022年4月の規定審議会で決定された定款、細則に基づき、川越RCの細則の変更が試案されています。また、当総会で西川会長ノミニーが選出されたことから、西川年度のクラブ運営について検討が開始されており、坂口年度との意見交換が開始されました。従いまして、次年度、次々年度会長のクラブ及び組織運営の大筋が固まってきた段階で、川越RCの中期計画につきまして会員の皆さまと意見交換を行い、当委員会で検討して参りたいと考えています。

●研修委員会 小高章委員(坂口孝委員長欠席の為代理)

　上期は、主に新会員のオリエンテーションを実施しました。卓話についても、研修委員会が担当しておりますが、外部講師につきましては、ほぼ、会長・幹事に手配いただきました。

　下期は、3年未満の研修、次年度の理事・委員長の研修、次年度の地区役員予定者の研修、クラブ協議会の討議の内容の研修を予定していますので、ご協力いただきたいと思います。

日時は、改めて皆さまに通知します。

●クラブ管理部門 栗原雄一部門委員長

　会員増強・選考委員会では、現在5名の増強、会員総数102名となっております。皆さまにご案内している新会員を合わせますと103名の体制となります。11月30日に炉辺会合を行い、その中で女性会員増強の話が出ています。男性、女性に拘わらず、候補者がいれば、私若しくは委員長にご連絡をいただければと思います。

　公共イメージ委員会では、ロータリーの友の要約版を今期より作成しており、その中に、10月26日以降、SDG sの活動内容も入っております。ホームページやフェースブック等で例会の風景を掲載しています。過日行われました、小江戸川越ハーフマラソンでは、募金活動のチラシを作成し、募金活動の協力もしました。

　会報委員会では、今週のはものは翌週に、1週間で配布すべく、粛々と頑張っています。

●クラブ運営部門 住谷治男部門委員長

　出席委員会ですが、この半年間の平均出席率61.36%です。最高出席率は7月5日の66.67%、最低出席率は8月9日の53.13%でした。階出席者は27名、小橋会員、あと1回メイキャップをすると階出席になります。

　11月29日、川越市政施行100周年記念例会を担当し、マラソンのマスターズ世界記録保持者弓削田真理子様を卓話講師にお招きし開催させていただきました。

　ニコニコボックス委員会では、11月末現在までの皆さまの浄財は、1,047,660円です。上半期のユニークなニコニコ賞は、藤井潔会員、小林勇次郎会員、丸山猛会員、石井照典元会員の4名です。下期も、是非、ご協力をお願いします。

　親睦委員会は、毎月、1回から2回炉辺会合を開いています。小林委員長とメンバーの結束を非常に深めており、いい例会が出来るかと確信しています。7月26日の納涼家族夜間例会では、ジャミンバンドの演奏と立原さんの素晴らしいパフォーマンスで盛り上げていただき、ありがとうございます。11月4日の家族親睦コンペでは、皆さまの付度により小林委員長が優勝させていただきました。これからの予定として、12月20日のクリスマス例会ですが、楽しい企画を用意しておりますので、多くの皆さまのご出席をお願いします。4月にはお花見例会を新しくなった水川神社で開催する予定です。5月に2回目の家族親睦ゴルフコンペを開催します。今度のゴルフコンペは、小林委員長が皆さまに付度しますので、是非、よろしく申し上げます。

●奉仕プロジェクト部門 齊藤智部門委員長

　職業・社会奉仕委員会ですが、11月20日に武蔵寺子屋事業として南古谷公民館で40名の小学生が参加し、武蔵寺子屋の大学生と段ボールで自由な発想のハウスを創って楽しんでいただきました。武蔵寺子屋事業は、子供達の成長の一端を担う大切な事業であると痛感しましたので、これからも継続したいと思います。

　11月27日には、小江戸川越ハーフマラソンにおきまして、募金活動

　の取り纏めを行い、10万円強の募金を集めることができました。1月17日の卓話担当では、八木委員長がアイバンクについての卓話を予定をしています。

　国際奉仕委員会では、台湾西北RCの60周年事業のZOOM会議に参加しました。卓話では、米原委員長が取組んでいる、秀拓でのインターンシッププロジェクトについて、台湾からの来られた社員の方にお話をいただきました。今後は、台湾西北RCへのグローバル補助金を利用するための調査を模索していきたいと思います。

●青少年奉仕部門 高橋哲彦部門委員長

　ローターアクト委員会は、東京国際大学の学生の独立性のバランスを取りながら連携を深め、新型コロナウイルスで実現できなかった諸活動の再開を支援するという方針のもと、川越ローターアクトクラブの理事会及び例会の開催の支援として、ローターアクトクラブ市川会長と松山委員長、坂戸RC(城西大学ローターアクトクラブ)の中村様と私がZOOM会議を開催し、人数が集まらない事への打開策として、川越ローターアクトクラブと坂戸ローターアクトクラブを混合して活動をしていくことで活性化できないかとか、前向きな意見交換を行い、前進していこうと考えています。

　具体的な奉仕活動の立案・実施の支援として、川越の伝統芸能の支援活動など、少人数でも出来ることからやっていくという方向で進めています。

　インターアクト委員会では、未来を担う青少年が奉仕を通して健全な育成を図る事に全面的に協力し、国際感覚を身に付けた青少年が、世界の平和に貢献できるような支援することの方針のもと、星野高校インターアクトクラブの支援として、過去行ってきた年次大会への参加と支援、チャリティーコンサートへの参加と支援は、このコロナ禍で実施されませんでした。が、顧問教師との連携、例会招集は再開し、11月1日の例会に来ていただき、卓話をしていただきました。その流れで、11月27日の小江戸川越ハーフマラソンでは、星野高校の学生の皆さまに募金活動に参加、協力いただきました。

　コロナ禍の状況下、学生主体ですので学校の方針や顧問教師の考え方に影響を受けますが、少しずつ前に進んでいますので、下期には何とか通常に動けるような形とし、次年度にうまく繋げていきたいと思っています。

●財団米山部門 野溝守幹事(京野弘一部門委員長欠席の為代理)

　ロータリー財団委員会(長谷川均委員長)では、11月8日の例会に、2570地区役員 ロータリー財団奨学学友・平和フォロー委員長 鳥居由美子(所沢RC)様にお越しいただき、2023-2024国際ロータリー地区補助金奨学候補生 金泉愛様に卓話をしていただきました。卓話を通して、発達障害や知的障害を持つ子どもたちにABAセラピーによる支援をされている方を奨学生として応援するロータリー財団の活動内容を再認識させて頂きました。

　ボールハリスフェロー・ベネファクター取得の推進については、ボールハリスフェローは、馬場常正会員、池袋賢一会員、山口裕会員、長谷川川会員、野溝守会員が取得。ベネファクターはありませんでした。

　「毎年あなたも100ドルを」運動の推進については、上半期総額として、クラブ寄付：年次基金\$2,425(¥329,800)、ポリオプラス\$1,455(¥198,880)、恒久基金\$1,455(¥198,880)、個人寄付：年次基金\$4,700(¥648,600)、ポリオ\$2,000(¥283,000)のご寄付をいただきました。円安で会員の皆さまの負担が多くなりましたが、皆様には気持ちよくご協力を頂き、誠にありがとうございます。

　後半の活動としては、国際奉仕委員会と連携しグローバル補助金の活用を検討してまいります。

　また、4月にも卓話を予定しております。後期は「炉辺会合」を開いて、委員同士の親睦を図ってまいります。

　米山記念奨学委員会(山崎共子委員長)では、10月2日(日)に米山梅吉記念館をバスで訪問し、見学・研修・お墓参りを行いました。また、地区の米山記念奨学委員会事業といたしまして、11月6日(日)に16名の奨学生と記念館を訪問し、研修を行ってまいりました。

　10月23日(日)アルカーサル迎賓館川越にて、鶴ヶ島ロータリークラブ主催による「米山奨学生スピーチコンテスト」が行われましたので出席いたしました。また、12月4日(日)アルカーサル迎賓館川越にてカウンセラー会議と、米山奨学生企画によるクリスマス会が開催されましたので出席いたしました。

　上半期の寄付総額(11月30日現在)は、クラブ寄付\291,000、個人寄付\830,000、合計\1,121,000のご寄付をいただきました。

　後半の活動として、3月にも卓話を予定しております。地区米山記念奨学委員会は、1月選考試験、2月レポート提出、3月終了式、4月オリエンテーション、5月秩父・ロータリーの森清掃活動、6月学友総会(4月からは、次年度と重複)を予定しています。

　米山記念奨学生の支援(小高章カウンセラー)としては、当クラブの奨学生のミンちゃんには、月に一度の例会に出席していただき、出席委員会の活動への参加と出席報告、スピーチをお願いしながら会員との交流を深めていただいております。9月には地区宛にカウンセラーレポートを提出し、12月のカウンセラー会議で奨学生の近況報告と意見交換をいたしました。

　その他、9月18日(日)熊谷市立文化センターにて「外国人による日本語スピーチコンテスト」が行われ、当クラブの米山奨学生ミンちゃんが参加し、特別賞をいただきました。

　また、米山奨学生のOGであるセンちゃん(東京電力)、リンちゃん(西原商店)を、石井会長、野溝幹事、京野部門委員長、山本会員(幸町)のアテンドのもと、10月15日の川越まつりにご招待しました。